

6 地域公共交通網形成に必要な事業

6.1 計画目標達成のために取り組む施策の体系

盛岡市地域公共交通網形成計画では、『つながり合うひと・まち・暮らしのパートナー みんなで使って未来に引き継ぐ公共交通』という基本理念、5つの基本方針のもと、5つの計画目標を定めています。

この目標を実現するため、4つの施策の柱ごと、16の施策、39の事業に取り組みます。



6.2 目標実現のための取り組み事業

(1) 取り組み事業の推進に関する「盛岡市地域公共交通会議」構成員の役割

「盛岡市地域公共交通会議」は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第1項の規定に基づく「法定協議会」であり、盛岡市地域公共交通網形成計画の作成、網形成計画の実施に必要な協議を行う組織（盛岡市地域公共交通会議設置要綱）です。法定協議会では、参加（協議）の要請を受けた者の応諾義務、参加者には協議が整った事項に対する尊重義務があるとともに、計画の実施において法定協議会自体が補助対象事業者となることも可能です。

このことから、「盛岡市地域公共交通会議」は、当該計画を推進する実行組織となり、構成員（組織）は取り組み事業を推進する上での重要な役割を担っています。

表 6-1 取り組み事業の推進に関する盛岡市地域公共交通会議構成員の役割

立場	役割
市	市民、交通事業者、ほかの行政などの関係機関との連絡調整の要となり、計画全体の進捗管理、施策の評価と必要な見直しに関する統括的な役割を担います。
公共交通事業者	交通事業の経営・運行の主体として、确实、安全で効率的な運行、必要な情報などの収集や提供、発信を行います。
住民・利用者 運送事業実施主体	主体的に公共交通を利用するとともに、計画の実施や改善に対する提案や必要に応じて運行の主体となるなど、公共交通に積極的に関わります。
公共交通事業者の 運転者による団体	計画の実施や改善に対する意見や提案を行います。
道路管理者 交通管理者 公安委員会	道路、交通行政の観点から計画の実施や改善に関する検討、判断を行います。
学識経験者	地域公共交通会議における協議、計画の実施、改善に対するアドバイスやコーディネートを行います。
旅客輸送事業管理者	旅客輸送行政に関する総括の観点から計画の実施や改善に関する検討、判断を行います。
地域関係者	計画の実施、改善に対する意見や提案を行うとともに、行政や関係機関、交通事業者と連携した取り組みの展開を図ります。

(2) 目標実現のための取り組み事業

施策の柱 1 : 公共交通網の再編

取り組み 1 : 路線バス運行の効率化と路線網の見直し・再編

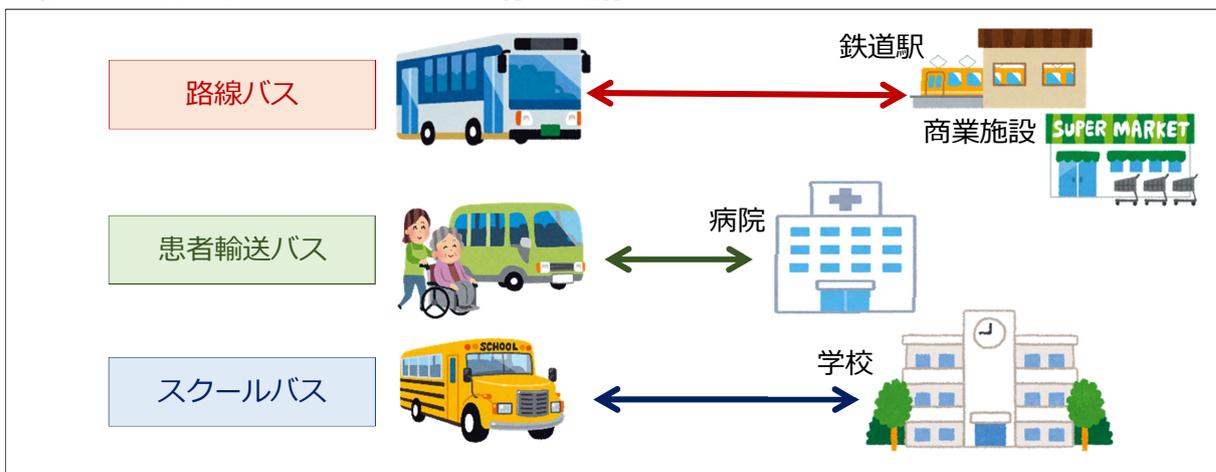
- 鉄道と路線バス、タクシー（小規模な需要に応じた乗合利用を含む）などの既存交通事業者とともに、スクールバス・患者輸送バス、自治会などの地区の共助による運行、さらに自動運転などの先端技術を活用した移動手段などの利活用や新たな導入を視野に入れ、地域の公共交通が持続的に確保できる体制、支援のあり方を適切に組み合わせた市内全体をカバーする公共交通網の構築を目指し、路線バスの運行効率化と利用者のニーズや医大附属病院の移転などの需要の変化に対応できるよう、バス路線網の見直し、再編について検討します。
- 全体の路線網は、各地域や地区に交通の拠点となる中心拠点、地域拠点、乗り継ぎ点を確保し、これらを効率的に連絡する路線や運行の方法を検討します。見直し、再編は、車両及び運転士を効率的に運用して、利用者の多い地区のサービス向上、利用者の少ない地区の適切なサービスの確実な提供、高齢化などによる運転士不足への対応、交通渋滞や環境負荷の低減、運行経費削減を図るとともに、わかりやすさ、利用しやすさを向上するため、既存のゾーンバスシステム、都南バスターミナル廃止への対応、（仮称）新盛岡バスセンターの整備を活かしつつ検討します。
- また、公共交通における自動運転などの新技術の活用の検討、新しい交通システムの可能性などの調査・研究を行います。

事業 1	都南バスターミナル廃止に伴うバス路線の再編					
概要	廃止予定となっている既存の都南バスターミナルの機能を、JR 東北本線岩手飯岡駅に移転し、鉄道と路線バスの結節を強化しつつ、岩手飯岡駅を交通の拠点とした都南地区のバス路線の再編を実施します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	再編の検討 地元・バス事業者協議			再編実施		

事業 2	（仮称）新盛岡バスセンター整備に伴う路線系統の見直し					
概要	（仮称）新盛岡バスセンター整備（2021 年度中の供用開始予定）に合わせ、これを利用して、市内の拠点と中心部との連絡性、中心部内の回遊性の向上と既存路線・系統の統廃合による運行の効率化が行えるよう、既存の路線バスの見直しを供用開始に合わせ実施します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	見直し検討	バス事業者協議	実施			

事業3	スクールバス・患者輸送バスの地区生活線との運行形態などの見直し					
概要	スクールバス・患者輸送バスの機能を確保しながら、買い物などの地域住民の生活に必要な交通手段を確保するために、路線バス及び小規模な需要に対応する新たな移動手段とスクールバス・患者輸送バスの運行を一体化する方策を検討し、地元住民や関係機関との協議調整が整った路線から順次再編を検討します。					
実施主体	盛岡市・市民（地域）・タクシー事業者・バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	地元・関係機関協議 実証実験	導入の検討				

路線バス・患者輸送バス・スクールバスが並行して運行



統合した新しい交通手段が運行

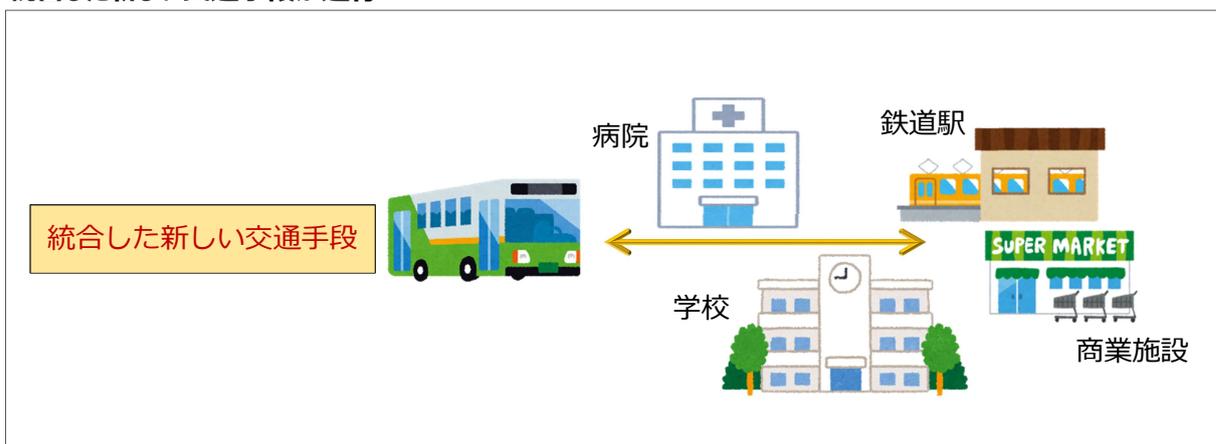
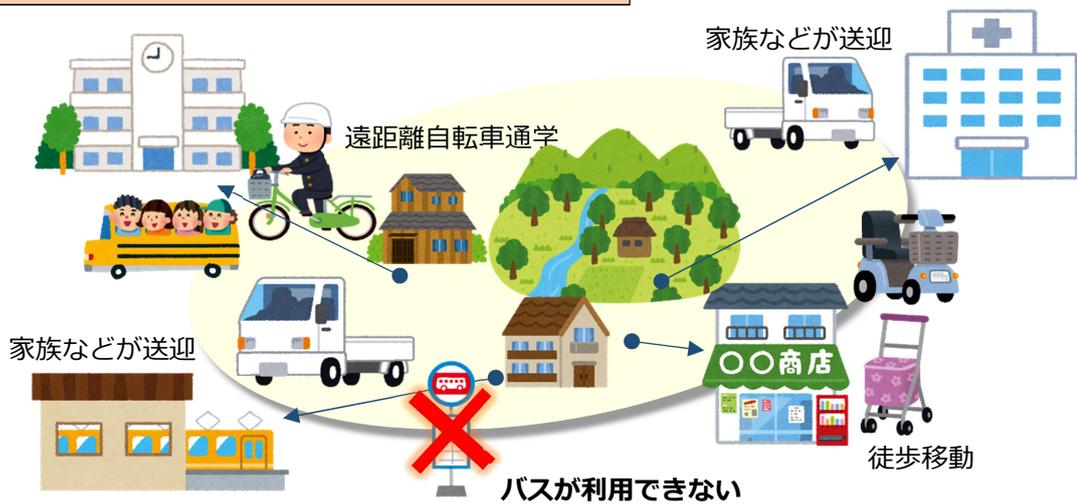


図 6-1 複数の交通手段を統合して運行するイメージ

事業4	交通空白地区を解消する移動手段の確保・導入					
概要	公共交通の利用ができない交通空白地区（鉄道駅を中心とした半径800mの範囲外、バス停を中心とした半径300mの範囲外）の移動手段を確保するため、需要の大きさや地元住民のニーズを踏まえた上で、確保する交通サービスの内容（頻度、運賃、ルート、運営の方法など）が適切かつ効率的で持続可能なものとなるよう、タクシー車両やタクシー事業者を活かした移動手段の確保・導入、自治会などの地区の共助による移動手段の確保・導入などについて検討を行い、地元住民や関係機関との協議調整が整った地区に導入していきます。					
実施主体	盛岡市・市民（地域）・タクシー事業者・バス事業者					
実施スケジュール （年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	—	地区の選定	移動手段の検討	地元・関係機関協議	実施	

公共交通空白地区：公共交通が利用できない環境



公共交通を使って移動できる環境

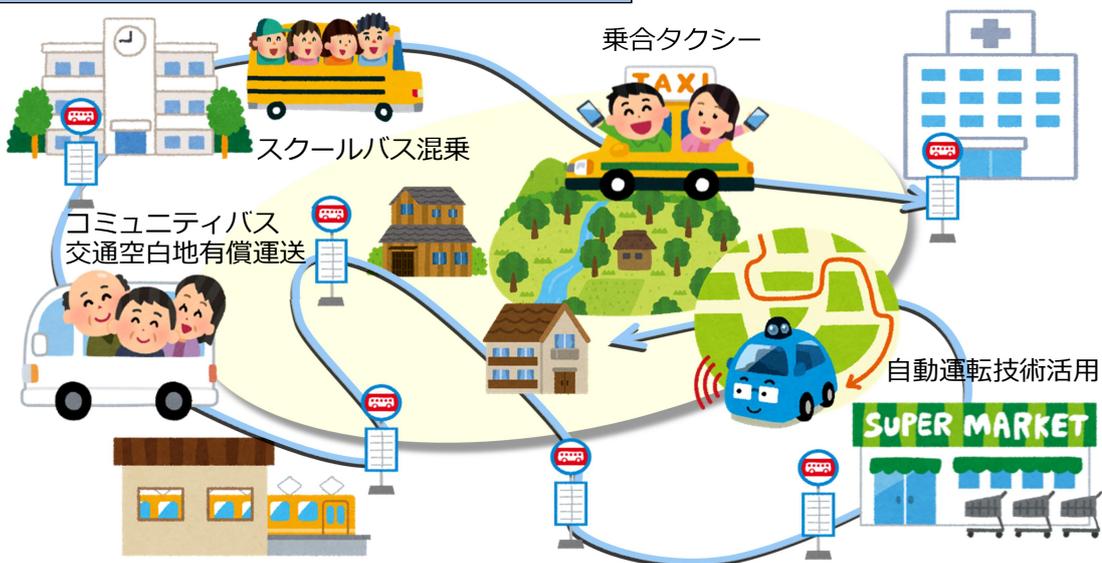
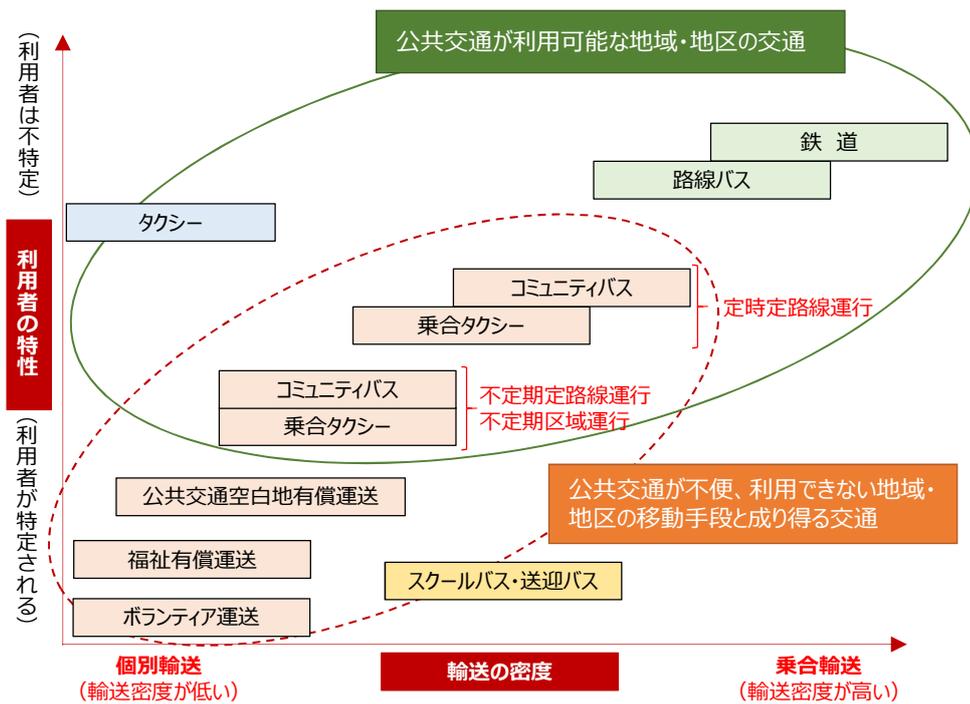


図 6-2 交通空白地区を解消する交通手段のイメージ



種類	特徴
コミュニティバス 乗合タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 地域内や集落と拠点間の移動手段として、行政や行政から依頼を受けた民間事業者が運行主体となり、比較的規模の小さい区域で運行される乗合交通。 利用者が少なく、路線バス運行が成立しない地域で行政が関与して運行されているのが特徴。 定時定路線（決められた時刻表とルート）で運行する場合のほか、利用者の要望（デマンド）に応じて柔軟な時刻や路線で運行する場合がある。 車両は多人数の乗車が可能なバス車両を用いる場合もあれば、タクシー車両（セダンタイプやジャンボタイプ）を用いる場合もある。
公共交通空白地 有償運送	<ul style="list-style-type: none"> 主に地域住民を対象に、営利に至らない範囲の対価で、NPO法人、医療法人、社会福祉法人、認可地縁団体などが、道路運送法第79条の規定による登録を受けて自家用自動車で行う乗合交通。
福祉有償運送	<ul style="list-style-type: none"> 介助が必要な高齢者や障がいのある対象者に限定し、営利に至らない範囲の対価で、NPO法人、医療法人、社会福祉法人などが、道路運送法第79条の規定による登録を受けて自家用自動車で行うもの。 原則として、ドアツードアの個別輸送である。運送登録者が、介護保険の訪問介護事業者として認定を受けていれば、介護保険適用も可能。
ボランティア輸送	<ul style="list-style-type: none"> 道路運送法によらない無償運行で、許可や登録を必要としない。 利用者は、ガソリン代などの実費のみを負担して、運送してもらうもの。

図 6-3 小規模な交通需要に対応する交通手段の種類と特徴

事業5	利用者のニーズに応えるダイヤへの見直し					
概要	日常生活の通勤・通学、通院、買い物などの移動目的に適した運行間隔、運行時間帯への見直し、週末、祝日の街歩きや市内の観光に便利な運行間隔、運行時間帯への見直しを検討します。また、岩手医大附属病院の移転に伴う、盛岡市立病院など市内の医療機関への新たなニーズに沿ったダイヤも合わせて見直しを検討します。					
実施主体	バス事業者・盛岡市・商業及び観光などの関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	検討・実施					

事業6	鉄道駅を活かす連絡バス路線確保					
概要	既存の鉄道網・鉄道駅、新たな鉄道駅と地域の拠点や主要施設を連絡するバス路線の確保について、鉄道と路線バスが適切に役割分担し、無駄のない確実な公共交通網となるよう再編案を検討します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	-	再編案の検討	バス事業者・関係機関協議		実施	



図 6-4 岩手飯岡駅に接続する路線バス

事業7	自動運転などの新技術の導入可能性の検討					
概要	国などの動向を注視しながら、自動運転などの新技術を活用も含めた新しい交通システムなどの導入の可能性について検討します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・タクシー事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	検討					

国土交通省は、高齢化が進行する中山間地域における人流・物流の確保、2020年までの社会実装を実現するため、自動運転に対応した道路空間の基準などの整備、地域の実情に応じた運行管理システムやビジネスモデルの構築に向けたより実践的な実証実験のひとつとして、道の駅「かみこあに」（秋田県上小阿仁村）を拠点とした自動運転サービス実証実験を行っています。

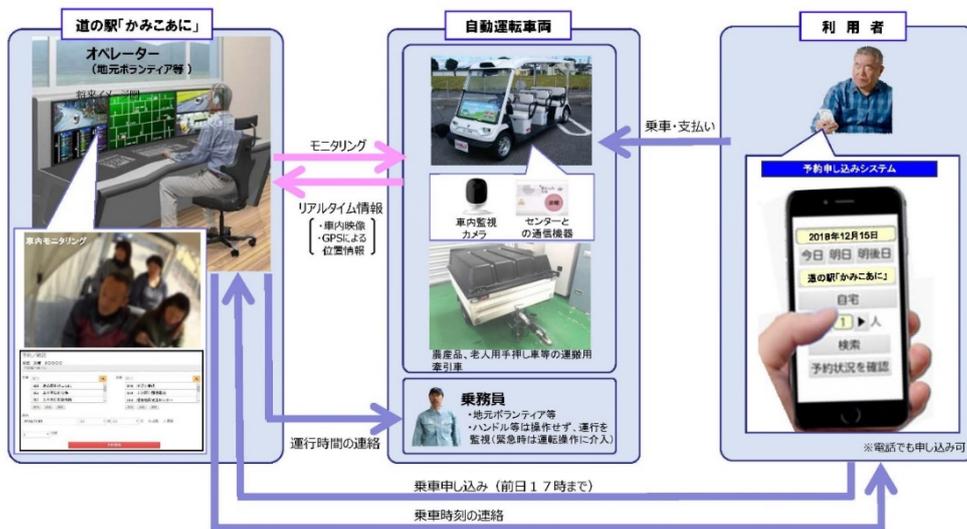


図 6-5 自動運転サービスの運行管理システムの例

出典：国土交通省東北地方整備局道路部交通対策課記者発表資料

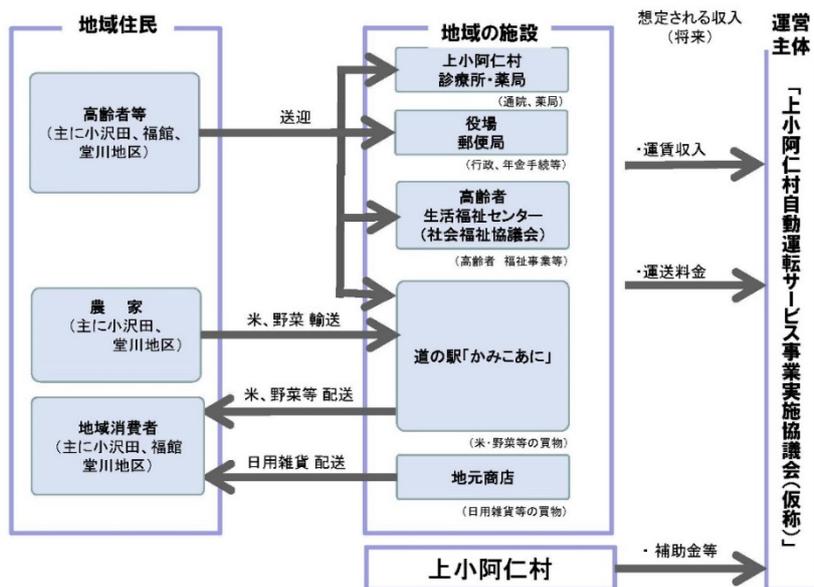


図 6-6 自動運転サービスを運行させるビジネスモデルの例

出典：国土交通省東北地方整備局道路部交通対策課記者発表資料

事業8	LRT（次世代型の路面電車）や BRT（バス高速輸送システム）などの新交通システムの研究					
概要	市民団体から要望がある LRT や BRT などの新交通システム導入に伴う中心市街地活性化や環境負荷の低減などの利点及び、交通環境に及ぼす影響や事業の採算性の課題について、先進地の事例や運用実績を注視しながら、継続して調査・研究をします。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	調査・研究					



図 6-7 LRT（次世代型の路面電車）の例

※LRT とは、Light Rail Transit の略で、低床式車両（LRV）の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのことです。

※BRT とは、Bus Rapid Transit の略で、バス車両を用いて大量輸送を行う交通システムを指し、バス停の改良による乗降の容易性、専用車線や優先的な信号運用などを伴って定時性、速達性を確保するなどの特徴を有し、日本ではバス高速輸送システムと呼ばれています。

市民団体などからの提言書

平成 26 年 10 月「盛岡中心市街地活性化提言書」

（株式会社川徳・岩手自動車販売株式会社・三田農林株式会社（KMC））

平成 30 年 10 月「盛岡市への LRT の導入とまちなかの賑わい創出に関する提言書」

（もりおか交通まちづくり LRT フォーラム・特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて・クロスステラス盛岡（三田農林株式会社）・MOSビル（岩手自動車販売株式会社）・株式会社川徳・ななつく株式会社）

取り組み2：鉄道の利活用、利便性向上

- 既存鉄道網の利活用と利便性向上のため、JR 田沢湖線新駅整備に向けた検討を進めるとともに、JR 山田線の利用促進を検討します。

事業9	JR 田沢湖線の新駅整備					
概要	JR 田沢湖線の盛岡駅と大釜駅の間の前潟地区への新駅整備に向けた検討を進め、実現を目指します。					
実施主体	盛岡市・鉄道事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	関係機関調整	詳細設計	駅工事		供用開始	

※上記スケジュールは、検討・調整状況により変更となる場合があります、あくまで市が目指すものとなります。



図 6-8 JR 田沢湖線の新駅設置予定地

事業 10	JR 山田線の利活用					
概要	公共交通機関として信頼度の高い鉄道網を確保し、沿線地域の交通の利便性を高めるため、JR 山田線の利用促進を検討し、利活用に係るパンフレットなどを作成します。					
実施主体	盛岡市・鉄道事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	調査・検討	パンフレットなど作成	配布			



図 6-9 JR 山田線

取り組み 3 : 交通結節点の整備、機能拡充	
<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道と路線バス、タクシーなどの多様な交通手段をつなぎ合わせる交通結節点の整備・機能拡充について検討、推進します。 ● 中心交通結節点として必要な機能を備えた（仮称）新盛岡バスセンターの整備、国道 4 号渋民バイパス沿いに整備計画中の「道の駅」における自動運転技術などを活用した新たな区内交通の導入に必要な機能や条件検討など、地域交通結節点や乗り継ぎ点に求められる機能や設備、整備のあり方について検討します。 	

事業 11	（仮称）新盛岡バスセンターの整備					
概要	中心結節点として、盛岡バスセンター跡地に交通機能と集いや交流などの機能を併せ持った（仮称）新盛岡バスセンターを整備します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	計画策定 設計	設計 整備			供用	

事業 12	中心結節点、地域結節点、乗り継ぎ点に相応しい機能や設備の検討					
概要	中心結節点、地域結節点、乗り継ぎ点に求められる交通の結節に必要な機能や設備など、その整備のあり方について、地区の特性を踏まえて検討します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・鉄道事業者・タクシー事業者・商業施設などの関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	—	調査	整備のあり方検討			

表 6-2 交通結節点で確保することが望まれる機能や設備など

	機能	設備など
基本となる機能	交通手段相互の確実な連絡	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段を相互に利用するために必要な乗降場や駐停車施設 想定すべき交通手段（徒歩、自転車・バイク、鉄道、バス（路線バス・送迎バス・高速バス）、タクシー、自家用車）
	わかりやすさ、使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点自体の設置場所のわかりやすさ、特にバス停は目立つ工夫 交通結節点周辺、アクセスする主要な経路のバリアフリー化 移動の動線に配慮した乗降場や通路などの配置
	スムーズな乗り換えや乗り継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段間、特にバス相互の乗り継ぎ時の水平移動、垂直移動が少なくなる乗降場配置や通路、エレベーター・エスカレーターなど バスや鉄道の乗り継ぎ、バス相互の乗り継ぎに必要十分で極力短い時間とした運行ダイヤの設定
	安心できる待ち合い環境	<ul style="list-style-type: none"> 大きく、見やすい時刻表や行き先案内の表示 接続する交通の状況や到着時間などのリアルタイムな情報を知るためのバスロケーションシステムや情報案内システム 乗車券や定期券などが購入できる案内所や提携している施設などの併設 交通系 IC カードなどへのチャージができる設備 雨風、特に雪・寒さへの配慮があり、季節や天候の影響を受けにくくする上屋や提携している施設などの併設 早朝や夜間などでも利用に不安を与えない照明や防犯カメラ、通報設備など
	快適な待ち合い環境	<ul style="list-style-type: none"> トイレやベンチなどの休憩施設 自動販売機など
付加的な機能	地域づくり・まちづくりの支援 地域活動などとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な人の集い、にぎわい、憩いの空間となる都市施設がまとまって立地する区域や、田園の集落の核的な施設と一体的に交通結節点を設け、地域での集会や趣味活動などと公共交通利用を連携させ、公共交通の利用者確保・増加につなげるとともに、地域づくりやまちづくりの誘導・支援を図る 拠点として物理的・心理的なランドマーク、景観形成要素になるような配慮 地域、観光、生活関連情報を受発信できる設備や仕組み



図 6-10 基幹バスと支線バスをつなぐ地域結節点として機能している松園バスターミナル



図 6-11 中心結節点として機能している JR 盛岡駅

事業 13	国道 4 号渋民バイパス沿いに整備計画中的「道の駅」における、地区内交通などの連携機能などの確保					
概要	道の駅の整備計画に反映するため、自動運転技術などを活用した新たな地区内交通の導入を図る場合の施設側に必要な機能や条件などを検討するとともに、自家用車利用以外の観光客が道の駅にアクセスできるバス路線などの再編について検討します。					
実施主体	盛岡市・関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	機能・条件検討		路線再編の検討			



図 6-12 道の駅の整備イメージ

出典:盛岡市

施策の柱 2 : 利便性を高めるサービスの改善

取り組み 4 : 交通系 IC カードなどの活用

- 鉄道と路線バスの運賃について、わかりやすく、使い勝手のよい体系や支払い方法、乗り継ぎ時の負担を軽減する割引制度などのあり方や実現方法について検討します。
- 異なる交通事業者や交通手段を意識しない利用環境構築のため、スムーズな運賃の支払いや精算に有効な交通系 IC カードなどの導入を推進します。交通系 IC カードは、運賃支払いとともに、利用区間や利用時間などの様々なデータの蓄積が可能で、車両運行管理データと合わせて情報分析することで、運行経路やダイヤの素早い適切な見直しにも寄与します。さらに、公共交通網全体の継続的な見直しにも活用できるため、これらビッグデータの活用なども視野に入れるとともに、日本版 MaaS の実現に向けての国などの動向を注視しながらシステムの導入、活用方策について検討します。

MaaSとは：Mobility as a Service の略で、ICT を活用して交通をクラウド化し、運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念。
出典：国土交通政策研究所報第 69 号 2018 年夏季

事業 14	交通系 IC カードなどの導入（鉄道、バス共通利用可能）の推進					
概要	市内の鉄道・バス・タクシーの交通事業者にとって適切な交通系 IC カードなどの早期導入を目指します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・鉄道事業者・タクシー事業者・岩手県・周辺市町					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	事業者調整			関係機関調整		



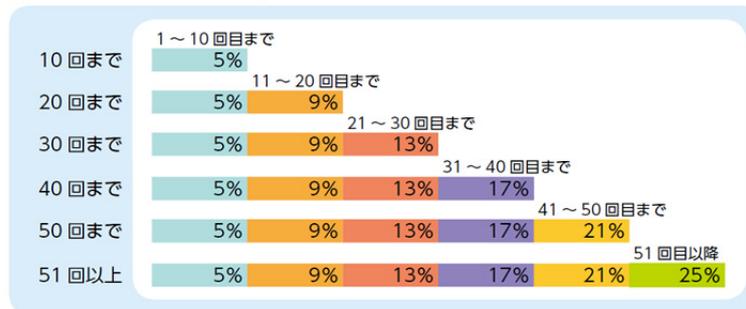
図 6-13 交通系 IC カードの利用イメージ

事業 15	交通系 IC カードなどの導入を見据えた利用促進につながる運賃制度の検討					
概要	交通系 IC カードなどの導入を前提に、既存の現金やバスカードによる運賃支払いや精算では難しかった、乗り継ぎ割引、多頻度利用者の割引率アップや他のサービスと連携したポイントの付与、ゾーン運賃や時間内フリーパスなどの運賃制度や割引制度の実施について検討します。					
実施主体	バス事業者・鉄道事業者・タクシー事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	交通系 IC カード導入の着手時検討開始					

基本ポイントの付与：宮城県仙台市の交通系 IC カードでは、地下鉄、市バスなどを利用すると、**それぞれのその月の乗車回数や利用金額**に応じてポイントが貯まります。1 回毎の運賃に乗車回数に応じたポイント率を乗じて計算します。

$$\begin{array}{c} \text{ポイント数} \\ \text{1ポイント未満の端数は切り捨て} \\ \text{1ポイント1円} \end{array} = \begin{array}{c} \text{1乗車ごとの運賃額} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{ポイント率} \\ \text{その月の乗車回数により異なります} \end{array}$$

地下鉄、市バスのポイント率



乗継ポイントの付与：地下鉄と市バス、または地下鉄と宮城交通・ミヤコーバス（高速バスを除く）を 60 分以内に乗り継ぐとポイントが貯まります。60 分以内であれば、どの駅、どの停留所から乗り継いでもポイントが貯まります。

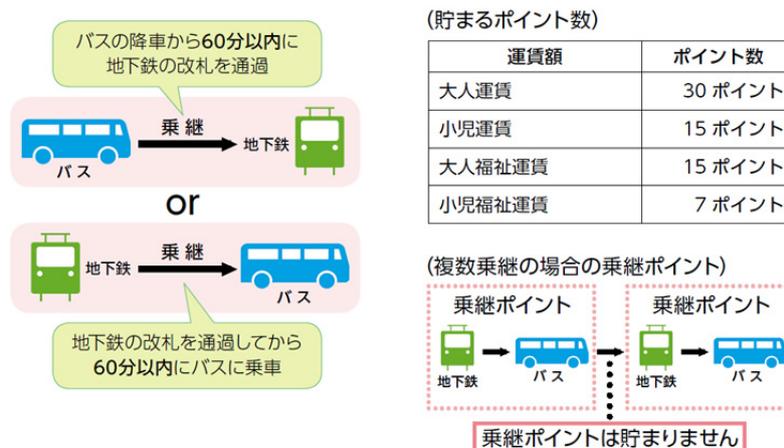


図 6-14 交通系 IC カードを活用した利用ポイント付与の例

出典：仙台市交通局

取り組み5：路線バスの運行定時性の確保

- 公共交通軸の多車線化の整備にあわせて、バスベイ設置などの道路環境整備に引き続き取り組み、路線バスの運行定時性の確保を図ります。

事業 16	道路新設・改良に合わせたバスベイの設置					
概要	既存道路の改良、道路の新設に合わせ、バス停におけるバスベイの設置を図ります。					
実施主体	盛岡市・交通管理者・道路管理者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	継続実施					



図 6-15 バスベイの設置例

取り組み6：情報の伝え方の改善・充実

- 市民や外国人観光客も使いやすく、わかりやすい交通に関する案内や情報を、無料公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）などを含むインターネットなどを介した電子媒体、多言語表記、音声案内、高齢者に馴染みのある時刻表冊子などの多様な媒体で発信する方法について検討し推進します。
- また、既存のバスロケーションシステムについて、経済性やデータ更新の容易さなどに加え、車両管理システムとの連携も勘案した更新整備を検討します。

事業 17	わかりやすい行き先案内表示（方面別整理、車内案内など）					
概要	行き先や経由地の案内について、バス車両などの前面や側面の表示や車内案内をわかりやすくするための、方面別の整理や記号などの統一化などの工夫について、鉄道、バス事業者、乗合交通を運行するタクシー事業者間で統一、整合を図った表示や案内を実施します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・鉄道事業者・タクシー事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	交通事業者調整				実施	



同じ方面でもバス事業者によって表示が異なる

- 岩手県北バスの表示
アルファベットと2けたの数字の組み合わせ
- 岩手県交通の表示
3けたの数字
- JRバス東北の表示
行き先のみ

図 6-16 各バス事業者の行き先案内表示

バス車両前後の表示



系統番号・表示色

経由する通りを表すラインカラー

バス乗車口横の表示



図 6-17 京都市バスの系統番号表示デザイン

出典：京都市交通局

事業 18	バス停の更新整備					
概要	バス停で利用者に発信する運行ダイヤなどの情報のわかりやすさ向上と更新情報の新鮮さや正確さを確保するために有効なインターネットなどの通信手段やデジタル機器を活用した新しいバス停への更新整備について検討します。					
実施主体	バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	検討					



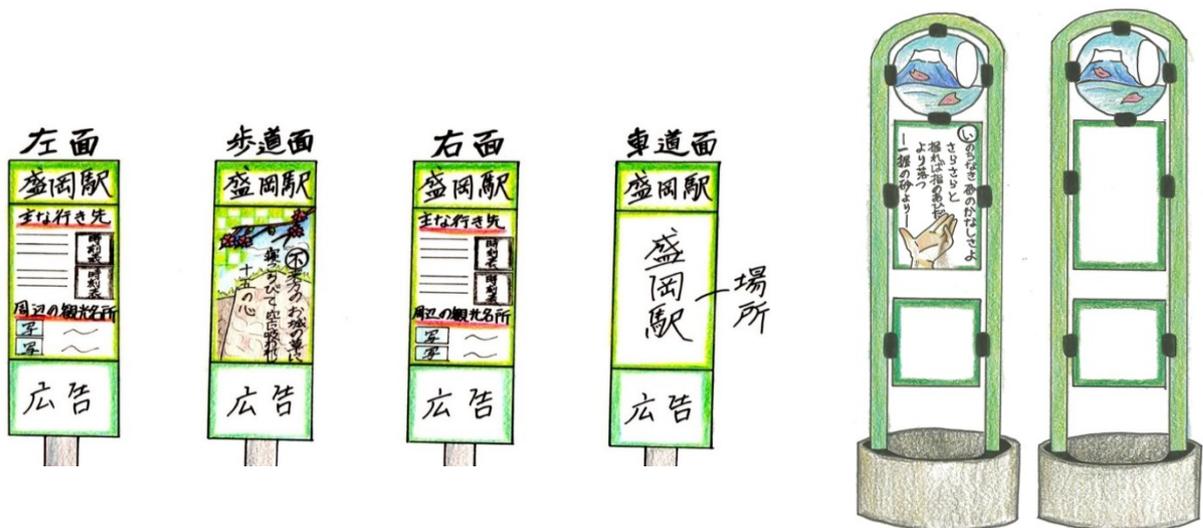
バス停・方面表示・モニターのデザイン統一

【京都市内のバス停】 出典: 京都市交通局

大型モニターによる情報提供

【盛岡駅 13 のりばバス停】

図 6-18 情報提供やデザインに配慮したバス停更新の例



【2017 年度盛岡市立高校商業科の生徒による「バス停に新たな魅力をつけて利用促進を図る提案」】

図 6-19 バス停に新たな魅力を加える提案の例

事業 19	バス停の統合及びバス停名の統一化					
概要	バス事業者別に設置されているバス停の集約統合、同一地点で異なるバス停名称の統一について検討します。					
実施主体	バス事業者・盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	バス事業者調整 検討					

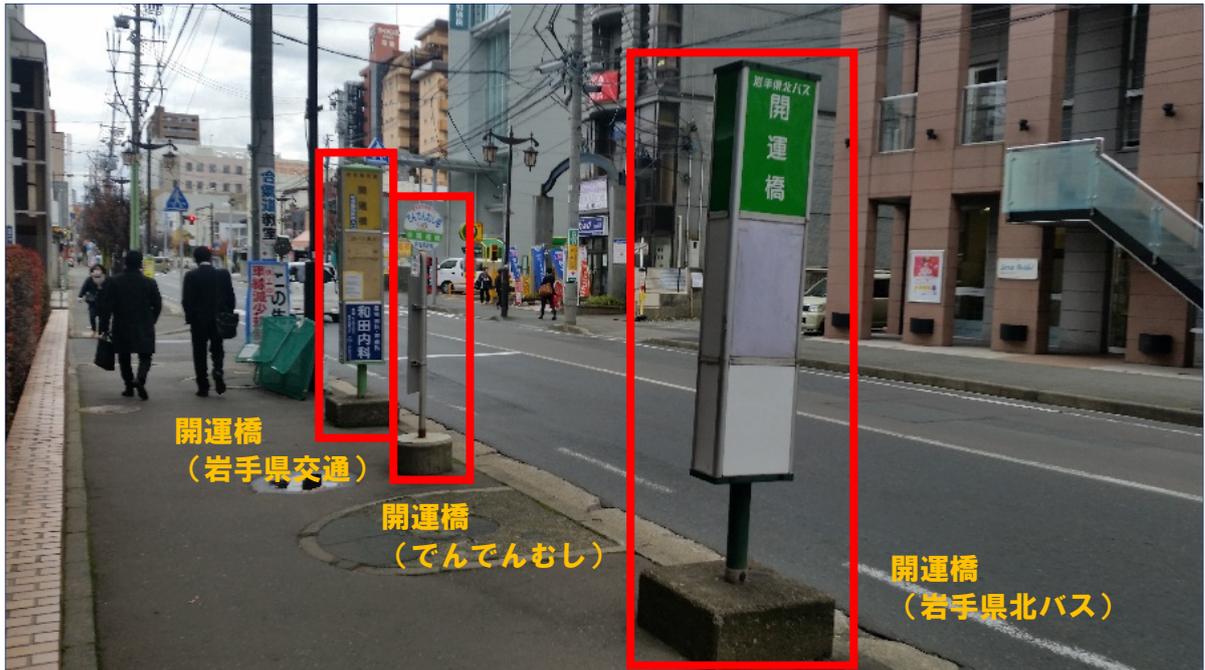


図 6-20 開運橋バス停：同じ名称のバス停が3基設置されている例



図 6-21 「啄木記念館前」と「玉山農協前」：同じ場所のバス停名称が異なる例

事業 20	バスロケーションシステムの更新整備の推進					
概要	既存のバスロケーションシステムについて、経済性やデータ更新の容易さなどに加え、車両管理システムとの連携も勘案した更新整備を目指します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・関係機関・岩手県・周辺市町					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	バス事業者調整 関係機関調整					

京都市では、バス案内表示及びディスプレイを刷新し、京都駅のバス総合案内板では、駅前から発車するバスの経路地、行き先、発車予定時刻、接近情報を4か国語で表示しています。各乗り場では、次発便の経路地、行き先、発車予定時刻、接近情報を4か国語で表示しています。



バス総合案内板



東山通 / 清水寺・祇園・平安神宮・銀閣寺・東福寺方面			
市バス	清水寺・祇園 北大路バスターミナル Kiyomizu-dera Temple / Gion / Kitaoji Bus Terminal	206	11:08 D2
市バス	博物館三十三間堂 清水寺・祇園 Kiyomizu-dera Temple / Gion	66	11:25 D2
市バス	清水寺・祇園・平安神宮・銀閣寺 Exp. Kiyomizu-dera Temple / Gion / Ginkakuji Temple	急行 100	10:20 D1
市バス	清水寺・祇園・平安神宮 Exp. Kiyomizu-dera Temple / Gion / Heian-jingu Shrine	岡崎・東山 Express	10:48 D1
市バス	直行 五条坂(清水寺) Non-Stop Gojozaka (Kiyomizu-dera Temple)	直行 東山シャトル	まもなく到着 D1
市バス	博物館三十三間堂 泉涌寺・東福寺 Sennyuji Temple / Tofukuji Temple	208	11:31 D2

バス乗り場の案内

図 6-22 京都市のバスロケーションシステムの改善例

出典：京都市交通局

釜石市などでは、スマートフォンを使って、近くのバス停や使いたいバス停にあと何分でバスが来るのか確認でき、バス停の位置や時刻表なども表示できるバスロケーションサービス「バス予報」の実証実験を行っています。

**「バス予報」とは
スマホからバスの到着予定を
確認できるWebサイトです！**



バス予報マン



近くのバス停に
いつバスが来るかを確認できます

使いたいバス停に
いつバスが来るかを確認できます

よく使うバス停を登録し
いつバスが来るかを確認できます

図 6-23 釜石市のスマートフォンを活用したバスロケーションシステムの例

出典：釜石市

事業 21	わかりやすい的確な公共交通利用情報の提供					
概要	公共交通の利用を促進するため、市民、来訪者・観光客も使いやすく、わかりやすい公共交通に関する案内を検討し実施します。また、多言語表記されたバスマップの作成、中心結節点での音声案内やスマートフォンなどを活用した情報発信を検討します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・鉄道事業者・タクシー事業者・商業及び観光関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	バスマップ作成		事業者調整 検討			

都心循環バス「でんでんむし」 Loop Bus "Denden-mushi"

■ 盛岡市内の観光には、かたつむりの絵がついた都心循環バス「でんでんむし」が便利です。

■ For sightseeing in Morioka city, there is convenient city center loop bus "Denden-mushi," indicated with snail picture.

■ 關於盛岡市内観光，乘坐帶有蝸牛圖案的市中心循環大巴「Denden-mushi」是非常便利的。



Q ○○に行きたいのですが
How can I get to ○○?
■ 想去○○。

Q どれに乗ったらいいですか？
Which bus should I get on?
■ 乘坐哪輛車？

■ ○○へはでんでんむしに乗ってください。料金は1回100円です。

■ Ride Denden-mushi for going to ○○. The fare is 100 yen per ride.

■ 請乘坐「Denden-mushi」前往○○。費用是1次100日圓。

■ 1日乗車券は300円です。盛岡駅バス案内所、プラザおでつで販売しています。

■ One day ticket is 300 yen. You can buy them at Morioka Station Bus Information Center and Plaza Odette.

■ 1日乗車券為300日圓。在盛岡車站大巴介紹所和Odette廣場銷售。

■ 盛岡駅東口バスターミナル1階、15番・16番から出ています。

■ The bus is departing from the stop 15th and 16th at 1st floor of Morioka Station East Exit Bus Terminal.

■ 從盛岡車站東口大巴站1樓的15號和16號發車。

■ 15分間隔で運行しています。

■ The bus operates at 15 minute intervals.

■ 每隔15分鐘運行一班。



■ 都心循環バス「でんでんむし」
City Center Loop Bus "Denden-mushi"

○ Bus Stop

○ 観光案内所
Tourist Information



15番線(右回り) Clockwise
Platform 15 at Morioka Station

16番線(右回り) Counterclockwise
Platform 16 at Morioka Station

図 6-24 外国人観光客への対応の取り組み

出典：盛岡外国人観光客おもてなし便利帳

和歌山市の公共交通情報マップ（wap+（ワップラス））は、シニア版、観光版、地域（北部版、中央部版、南部・東部版、全市域版）の6種類で、わかりやすさを重視して作成されています。



バスの乗り方と運賃の支払い方

1 バスに乗る時 When you ride a bus

行き先・ルートを確認します

同じ行き先でもルートが違うバスがありますのでご注意ください。ご不明なことはドア横のインターホンで乗務員にお尋ねください。

Confirm destination and route

Please note that there are buses with different routes, even towards the same destination. If you have any questions, please ask the crew on the interphone.



バスは後のドアよりご乗車し、前のドアより降車ください

Get on the bus from the back door.
Get off from the front door.



乗車口すぐのところに二つの機械があります

お支払いが現金、定期、紙製乗車券の場合
整理券をお取りください。
整理券が無い場合もあります。

If paying by cash,
commuter pass, paper ticket
Please take a numbered ticket.
There are times when there is
no numbered ticket.



バスカード等磁気式乗車券
ご利用の場合
カードリーダーにカードを
お通しください。

In the case of using a magnetic ticket,
such as a bus card,
Please put the card into the
card reader.



図 6-25 対象者の目的、年齢、地域別に作成した公共交通情報マップの例（部分抜粋）

出典：和歌山市

取り組み7：バス停の使いやすさの向上

- 公共交通にアクセスするバス停における待ちやすい、待てる環境づくり、徒歩や自転車での利用が容易になる環境づくりについて検討し、実施します。

事業 22	バス停下屋の整備					
概 要	バス停における上屋などの整備について、実施箇所や整備方法を検討します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	調査			整備箇所の検討		



図 6-26 上屋・ベンチを備えたバス停（杜の道南）

事業 23	市民との協働によるバス停周辺の除雪の実施（雪かきくん）					
概 要	冬期降雪時におけるバス停・周辺歩道などの除雪を市民との協働により継続的に取り組みます。					
実施主体	盛岡市・市民（地域）・バス事業者					
実施スケジュール （年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	継続実施					



図 6-27 バス停に設置された除雪用スコップ：雪かきくん

事業 24	バス停周辺の駐輪場の整備					
概要	バス停まで自転車を利用し、自転車を停めてバスを利用できるように、バス停周辺における駐輪場の確保、整備について検討します。					
実施主体	盛岡市・道路管理者・関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	-	-	-	調査	整備箇所の検討	



図 6-28 下前潟バス停に隣接して確保された自転車駐輪場

取り組み8：車両のバリアフリー化

- 車両のバリアフリー化について検討し、推進します。

事業 25	ノンステップバス導入に対する補助制度の実施					
概要	バス事業者がノンステップバス車両を導入する際の補助制度を継続して実施します。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	継続実施					



ツーステップバス
乗車口に段差が2段ある



ノンステップバス
乗車口に段差がない

図 6-29 ノンステップバス車両への更新

取り組み9：外国人観光客への対応の推進

- インバウンド観光需要に対応するため、外国人観光客に対する交通案内や情報の多言語化を図ります。

事業 26	交通案内や情報の多言語化					
概要	外国人観光客に対する車内放送、行き先表示、乗り場案内や情報の多言語化について、観光関連部局や観光関連事業者とも連携し実施します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・鉄道事業者・タクシー事業者・観光など関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	事業者調整				実施	



京都市バスでは、車内の「次の停留所名」の案内を日本語・英語（ローマ字）の表示から、ディスプレイモニターを更新し、日本語・英語（ローマ字）・中国語・韓国語の4か国語表示に変更しています。
主要観光スポットの最寄り停留所では、イラスト表示、停留所から主な観光地までの道順案内を表示するほか、車内アナウンスの多言語対応（4か国語）も行っています。



図 6-30 京都市バスの車内案内表示の4か国語多言語化の例

出典：京都市交通局

取り組み 10 : 接客サービスの向上

- 利用者の満足度を高めるとともに、運転士などのサービススキル向上、誇り意識の高揚のため、接客や対応の教育実施や対応マニュアルの整備に取り組みます。

事業 27	運転士などの接客や対応の教育実施や対応マニュアルの整備					
概要	高齢者や障がいのある方、外国人観光客などの利用者への接客や対応に関する教育実施や対応マニュアルの整備を行います。					
実施主体	鉄道事業者・バス事業者・タクシー事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	継続実施					

5 交通機関の部:主としてタクシー

Z お客様が乗る

Z-1 ありがとうございます
Hello!

Z-2 どちらまでですか?
How far to?
Where to?

Z-3 ○○まで
To ○○.

Z-4 ○○国の方ですか?
Are you from ○○?

Z-5 中国 / 香港 / 台湾 / 韓国 / 豪州
China / Hong Kong / Taiwan / Korea / Australia



Z-6 こちらまでですね
Is it to here?

Z-7 シートベルトをお付け下さい
Seat belt, please.

Z-8 あそこが○○です
That is ○○.

Z-9 岩手銀行本店 / 市役所 / 駅 / デパート
Iwate Bank Head Office / City Hall / Station / Department Store

Z-10 はい、到着しました
Here we are.

Z-11 あそこが入口です
That is the entrance.

Z-12 お忘れ物はありませんか?
Do you have everything?

Z-13 ドアは自動で閉まりますので、そのまま結構です
The door will close automatically, please leave it.

Z-14 料金はこちらです
This is your fare.



図 6-31 外国人観光客接客マニュアル（タクシーにおける対応）の例

出典:盛岡外国人観光客おもてなし便利帳



図 6-32 バス事業者の接客講習の様子

出典:岩手県交通(株)

取り組み 11 : 環境負荷の低減

- 環境負荷の低減を図るため、自家用車利用から公共交通利用への転換を進めるとともに、公共交通自体の環境負荷低減を図るため、車両の低炭素化に取り組みます。

事業 28	EV・FCV 車両、充電・充填設備の導入・整備の検討					
概要	公共交通における EV・FCV 車両などの導入、充電・充填設備の導入や整備を検討します。					
実施主体	バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	検討・整備					



図 6-33 市内に導入された電気バス

EV 車両とは : Electric Vehicle の略で、搭載した電池の電力を動力源に電動モーターで車を駆動させる電気自動車です。一般的には、外部から電池に充電する必要があります。

FCV 車両とは : Fuel Cell Vehicle の略で、搭載した燃料電池で発電した電力を動力源に電動モーターで車を駆動させる燃料電池自動車です。燃料電池は燃料の水素を使って発電するため、外部から水素を充填する必要があります。

施策の柱3：利用促進への協働の取り組み

取り組み 12：公共交通への関心・理解の向上、利活用意識の喚起

- 公共交通に対する関心や理解を高め、利活用する意識を喚起し、利用促進につながるよう、市民・企業などに対する働きかけ（モビリティ・マネジメント施策）について、交通事業者、商店街や観光関連事業者の団体などと連携して効果的な方法を検討し、既に実施している施策と合わせて取り組みます。

事業 29	バスの日まつりの開催					
概要	市民がバス車両やバスの乗り方などに関するイベントに接する機会を通じ、バスに親しみ、関心を高め、利用するきっかけづくりとなるよう関係機関と連携し継続して開催します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	継続実施					



図 6-34 バスの日まつりの様子

出典：盛岡市、公益社団法人岩手県バス協会

事業 30	利用体験会などの開催					
概要	バスを利用したことがない、利用の仕方がわからないといった市民が多くいることを踏まえ、乗り方や運賃の支払い方、時刻表の見方などについて、学校の授業や自治会などの集まり、「バスの日まつり」のイベント開催に合わせて実際に体験する機会を設けるよう検討します。					
実施主体	盛岡市・バス事業者・関係機関					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	検討					



図 6-35 バス利用体験会の実施例

出典：滝沢市

事業 31	地区毎のモビリティ・マネジメントなどの実施					
概要	小学生、中学生、高校生、高齢者、転入者などの利用層別、利用環境や条件が異なる職場や地区単位別にターゲットを明確にし、移動や交通の全般、公共交通の利用に関する情報の提供を行いながら、移動や交通手段の選択について考え、実際の行動につながるよう、モビリティ・マネジメント施策の展開について検討します。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	-	地区選定	手法の検討	実施	-	

モビリティ・マネジメントとは、その地域や都市を、「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（＝かしく）利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取り組みを意味するもので、ひとり一人の住民や、一つ一つの職場組織などに働きかけ、自発的な行動の転換を促していくコミュニケーション(対話)型の施策です。

みんなで考える

厨川駅周辺

これからの
かしこいクルマの
使い方

鉄道とバスを使ったスマートライフのすすめ

意外に便利な公共交通

- ◎厨川駅までの移動時間が短縮!!
厨川駅西口へのバス乗入れ開始により約10分で厨川駅へ
- ◎鉄道はとにかく速い!!
厨川駅⇄盛岡駅間を約7分で移動。
定時性に優れているのも鉄道の魅力です。
- ◎お得なきっぷがたくさんあります!!
 - ・ IGR・バス乗継通定期券
→ IGR各駅⇄盛岡駅間の鉄道+盛岡駅⇄盛岡バスセンター、みずほ銀行・青春館前のバスの乗継定期券

利用駅	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
厨川	11,340円	32,320円	61,240円

 - ・ すごe-きっぷ
→ 奥子駅⇄盛岡駅間の鉄道 (IGR) + 盛岡駅⇄盛岡バスセンター間のバス1日乗り放題で800円

定期券提示優待施設
情報もあります

他にもたくさんお得なきっぷがあります。
詳しくはIGRいわて銀河鉄道のホームページをご覧ください
⇒ <http://www.igr.jp>

道路の渋滞、イライラしたことはありませんか?
鉄道なら渋滞知らず。

図 6-36 厨川駅周辺モビリティ・マネジメントの取り組み

事業 32	祭事や各種イベント開催時などにおける公共交通利用の働きかけ及び利用しやすい環境づくり					
概要	市内や周辺市町で開催される祭事や各種イベント開催時などにおける公共交通利用の働きかけや、シャトルバスなどの代替交通手段の運行、一般路線バスの割引利用といった利用しやすい環境づくりについて、観光・商業施設などの関係機関・イベントなどの主催者とも連携して引き続き実施します。					
実施主体	盛岡市・観光・商業施設などの関係機関・イベントなどの主催者 鉄道事業者・バス事業者					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	イベントなどの開催に合わせて実施					



図 6-37 サッカー試合開催時の連絡バス運行の例

取り組み 14 : 市民・地元企業・交通事業者・行政の協働

- 公共交通に関する施策の検討・推進に関係者が一体的に協働して取り組めるよう、盛岡市地域公共交通会議の活動、地域レベルで考え取り組む組織、市民が主体的に利用促進や品質向上に取り組む活動について検討し取り組みます。

事業 34	市民や地域が主体的に公共交通について考える会などの開催					
概要	盛岡市地域公共交通会議の開催とともに、市民や地域が主体的に関与して地域の公共交通のあり方や確保の方策について考える組織の設立や活動の方法について検討し、市からの働きかけなどに基づき、地元住民や関係機関との協議調整が整った地域などから活動に取り組めます。					
実施主体	市民（地域）・盛岡市					
実施スケジュール （年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	地区選定・会の開催					



図 6-39 大学生・高校生・子育て世代との意見交換会（地域公共交通網形成計画策定時）

事業 35	市民と交通事業者を交えた意見交換会の開催					
概要	地域公共交通網形成計画の推進、個別事業の展開、鉄道やバスの運行サービス内容などに関する市民や交通事業者、行政、関係機関の意見交換会について、開催方法などを検討し開催します。					
実施主体	市民など・盛岡市・鉄道事業者・バス事業者・タクシー事業者					
実施スケジュール （年度）	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	開催方法検討	開催				

取り組み 15 : 率先する行政の取り組み

- 市は、公共交通をさらに便利で使いやすく、維持し続けるために必要な財源確保や国、岩手県、周辺市町との連携を図るとともに、職員などが率先して公共交通を利用する環境をつくります。

事業 36	市職員の通勤時、公務移動の公共交通利用の環境構築					
概要	市職員の通勤時、公務移動の公共交通利用について、必要な環境構築を検討します。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	先進地調査			検討・庁内調整		

事業 37	国・県・公的団体に対する公共交通利用の働きかけ					
概要	国・県・公的団体の職員などの通勤時の公共交通利用促進・公務移動の公共交通利用について積極的に働きかけます。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	実施					

参加者募集！ 11th

「かしこい交通ライフ」 チャレンジウィーク

日常生活状況に合わせて、ムリなく、できる範囲で、車と、鉄道・バス・自転車などの「かしこい使い分け」にチャレンジする取組です。

取組期間 平成30年9月23日(日)～10月21日(日)
参加対象 岩手県内の趣旨に賛同する事業所及び個人
参加方法 参加登録書を事務局へ提出する

■例えばこんなこと・・・

- 天気のいい日は、バスや鉄道、自転車などで通勤してみる
- 普段の買い物は、近所のお店に徒歩や自転車で出かけてみる
- 自動車を運転するときは、エコドライブを心がけてみる など

■チャレンジウィークの間中は・・・

- 公共交通の利用促進、CO2削減に取組む団体として県ホームページでPRします！
- 公共交通のお得な情報をお届けします！
岩手県交通政策室公式Twitter @kotuseisaku
- 9月23日(日)「バスの日まつり(盛岡市大通商店街)」でオープニングセレモニーを実施します！

■チャレンジウィーク期間終了後には・・・

- 期間中の取組内容をご報告いただいた事業所の中から抽選で**三陸鉄道ギフト券前払5,000円相当**を贈呈！
※期間終了後、事務局から回答様式をお送りさせていただきます。

9/23(日)は、バス乗車小学生以下、無料です。この機会に、家族でバスに乗ってみましょう。※岩手県交通・岩手県北バス・JRバス東北の3社のみ。一部を除く路線バスに限る。

【お問い合わせ先】 岩手県公共交通利用推進協議会 (会長:岩手県知事)
事務局:岩手県政策地域部交通政策室 電話:019-629-5204

図 6-40 岩手県による公共交通利用などの利用を促す取り組み

出典:岩手県

施策の柱4：運行や事業への支援

取り組み16：交通事業者・交通事業運営団体への支援

- 公共交通のサービス拡充や運行を確保するために、既存の支援制度を継続活用するとともに、運転手不足問題の解消などを含めた新たな支援のあり方などについて検討します。

事業38	運転士不足問題の解消など必要な支援のあり方などの検討					
概要	公共交通のサービス拡充や運行を維持確保するために必要な、交通に関して市が所有する情報の提供、調査などに対する協力や実施、国・県・関係機関などの連絡調整、既存制度の継続活用に取り組むほか、運転士不足問題の解消などを含めた新たな支援のあり方などについて検討します。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
	継続実施 支援のあり方検討					

I ♥ BUS, I ♥ IWATE.
一緒に地域を支える仕事をしてみませんか

BUS DRIVERS
岩手を支えるライフライン

JR BUS TOHOKU IWATE KENPOKU BUS IWATE KEN KOTSU

ENTRY 各社募集説明会
イベント等の
開催情報は **こちら!**

ジェイアールバス東北
総務部 採用担当
TEL:022-353-9841

岩手県北バス
総務部 採用担当
TEL:019-641-7772

岩手県交通
総務部 人事労務課
TEL:019-604-1595

滝沢市は、バス運転士を応援しています。
発行元：滝沢市 都市整備部 都市政策課

図 6-41 運転士確保に関する取り組み（ポスター）の例

出典：滝沢市

事業 39	地域が運営する交通に対する支援など					
概要	需要が少ない地区などにおいて交通手段を確保する場合の支援のあり方や地域（自治会やNPOなどの団体）が主体となって運行を確保する場合の支援のあり方について検討します。					
実施主体	盛岡市					
実施スケジュール (年度)	2019	2020	2021	2022	2023	2024~
	支援のあり方検討					

神奈川県相模原市では、「みんなで利用するので、バスや乗合タクシーを運行したい。」と考える地域に対して「導入と運行を支援する仕組み」を設け、地域（地域組織）に必要な支援を行っています。乗合タクシーの場合、運行継続の条件は、「1便あたりの輸送人員 1.5人以上、かつ全運行本数に対する実運行本数の稼働率が50%以上」となっています。

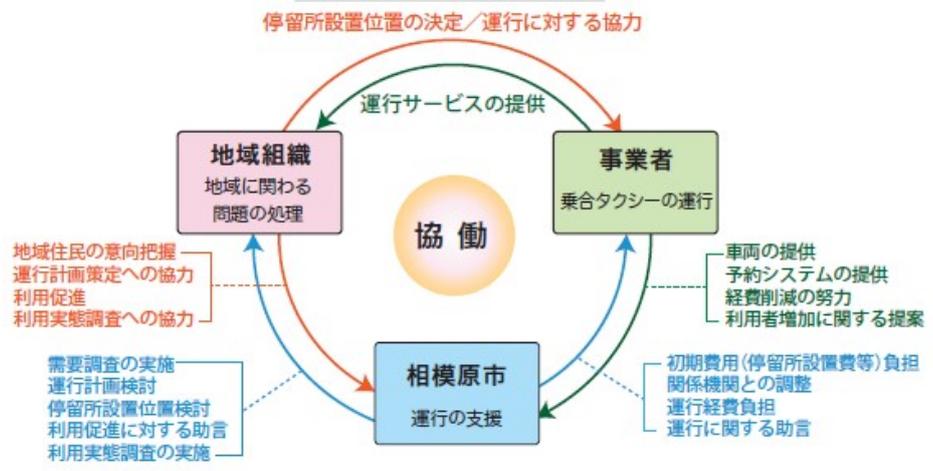


図 6-42 地域主体の交通を確保（運行）する役割分担の例

出典：神奈川県相模原市（乗合タクシー導入の手引き）